令和８年度第２回　こち亀記念館地域協議会　議事録

日　　時：令和８年 10 月 15 日（木）午後６時 30 分～午後７時 50 分
会　　場：亀有地区センター　ホール
出席委員：浅沼委員、梅田委員、大川委員、加藤委員、唐松委員、小室委員(オブザーバー)、佐藤（修）委員、佐藤（尚）委員、佐々木委員、佐野委員、鳥山（太）委員、鳥山（郁）委員、中田委員、長谷部委員、花島委員、平岩委員、福岡委員、松原委員、吉田委員　　(五十音順)出席 19 名、欠席 13 名
事務局：矢内観光課長、阿部商業振興係長、中村観光担当係長、佐藤、小林
運営事業者：アクティオ（株）小湊様、三好様、本橋様、小林様

議　　題：（１）令和８年度事業報告について
　　（２）令和９年度事業予定について

＜配布資料＞
【資料１】令和８年度こち亀記念館運営報告
【資料１－２】令和８年度葛飾区事業報告
【資料２】令和９年度こち亀記念館事業予定
【資料２－２】令和９年度葛飾区事業予定
ご意見シート

１．開会

２．挨拶
運営事業者から初出席者の自己紹介

３．議題
＜報告事項＞
事務局及び運営事業者より、（１）令和８年度事業報告について、（２）令和９年度事業予定についての説明を行った。

質疑要旨

・資料に記載されている「地域住民の皆さまと共に育つ施設」を実現するためには、こち亀記念館の来館者を地域店舗へ誘導し、地域店舗の利用者をこち亀記念館へ誘導する双方向の仕組みが必要ではないか。また、『こち亀』を使用しない形での取組も検討してほしい。

⇒（事務局回答）このコンセプトに対して、未だ十分に実現できていないと認識している。今後は、『こち亀』を使用しない部分についても、商店街と相談し、幅広い店舗に展開できる仕組みを検討していく。

・こち亀記念館のスタッフ及び観光課職員が直接地域イベントに出向き、情報収集を行い、各種媒体で紹介する取組ができないか。

⇒（事務局回答）地域からこち亀記念館への誘客だけでなく、こち亀記念館から地域へ出向き、情報発信していく事も必要と認識している。今後、実際に地域イベントへ出向き、イベント等を紹介する取組が可能か、運営事業者と連携し、検討していく。

４．総評（オブザーバー）

オンラインチケット販売の状況を見ると、20 代・30 代からも多く購入されており、今後の展開に期待できる。また、こち亀記念館と地域店舗を結び付け、来館者が地域に親近感を持てる仕組みを検討してほしい。１階は無料入館ができるので、地域との連結点として活用し、様々な地域要素を取り入れていく事を検討してほしいと考える。

５．閉会